

令和6年度 第1回下野市健康づくり推進協議会 会議録

日 時 令和6年7月18日(木) 午後2時30分～午後4時30分

場 所 下野市役所 303・304会議室

出席委員 村田光延委員、江連美佐代委員、伊沢泰直委員、春山早苗委員、鶴見利夫委員、  
上野文夫委員、佐藤とよ子委員、菅井貞雄委員、原安礼委員、宇賀地恵子委員、  
小倉庸寛委員、石原加奈委員、原口由紀子委員、印南久美子委員、大塚文子委員、  
田中康代委員、中村剛史委員

欠席委員 金子ひとみ委員

事務局 荻原健康福祉部長  
大山こども家庭センター長  
すこやか親子グループ：中新井主幹  
間板健康増進課長  
感染症対策グループ：江連課長補佐、伊澤副主幹  
健康づくりグループ：生井課長補佐、大栗副主幹、奥村主査（保健師）

配布資料 会議次第  
下野市健康づくり推進協議会委員名簿  
【事前送付資料1】健康しもつけ21プラン 地域団体の取り組み<<令和5年度評価表>>  
【事前送付資料2】健康しもつけ21プラン 庁内各課の取り組み<<令和5年度評価表>>  
【事前送付資料3】健康しもつけ21プラン 令和5年度全体評価  
【事前送付資料4】幼稚園・保育園保護者向け調査票  
【資料1-1】健康福祉部組織再編  
【資料1-2】健康福祉部事務分掌一覧（R6～）  
【資料1-3】こども家庭センターふわり案内  
【資料2】下野市健康づくり推進協議会設置要綱  
【資料3-1】母子保健事業概要  
【資料3-2】成人保健事業概要  
【資料3-3】予防接種事業概要  
【資料4】下野市の状況(地域の健康課題等)  
健康しもつけ21プラン概要版

1. 開会 (開会・進行：間板課長)
2. 委嘱状交付 委嘱状を交付(坂村市長)
3. あいさつ (坂村市長)
4. 健康福祉部組織再編について
5. 自己紹介 名簿順に、委員からの自己紹介
6. 下野市健康づくり推進協議会設置要綱の説明
7. 会長及び副会長の選出について
8. 議事
9. 閉会

- (春山会長) 議事に沿って説明させていただきたいと思います。  
まず1つ目ですが、健康しもつけ21プランの概要について、事務局の方から説明をよろしくお願いいたします。
- (事務局) 【健康しもつけ21プラン概要版】に基づき説明
- (春山会長) それでは(3)まで、続けて説明願いたいと思います。保健事業の概要の母子保健事業についてお願いいたします。
- (事務局) 【資料3-1】に基づき説明
- (春山会長) 成人保健事業につきましてお願いいたします。
- (事務局) 【資料3-2】に基づき説明
- (春山会長) 予防接種事業につきましてお願いいたします。
- (事務局) 【資料3-3】に基づき説明
- (春山会長) 健康しもつけ21プランの評価についてですが、最初に下野市の、地域の課題等についてお願いいたします。
- (事務局) 【資料4】に基づき説明
- (春山会長) 令和5年度の評価及び令和6年度の取組についてお願いいたします。
- (村田副会長) 最近乳癌が増えています。下野市は非常に恵まれていて、1年前と比べると検診ができる乳腺クリニックさんが増えました。  
また、子供の健康に関してなのですが、中学校の学校医に今年からなりまして、非常に気になったのが姿勢です。姿勢が、学年で数人今から矯正した方がよいのではないかというお子さんたちがいます。これはもう全般的なことだと思うんですけども、幼児教育に携わっている先生方は、非常に姿勢に関して指導されていると思います。いつからか、だんだんと悪化してくるんですね。  
クリニックでもやはり頭痛を訴えるお子さん、中学生が多く大体みんなストレートネックが多いです。本日、学校保健会養護教諭部会からも委員がお見えになっておりますが、姿勢が悪いことは、色々な疾病に繋がったりしますので、姿勢に関する教育も1つ入れてもらいたい。そんなことを最近感じております。
- (事務局) 【事前送付資料1・2・3】に基づき説明
- (春山会長) 皆様には説明をお聞きいただきましたけれども、今、事務局の方からお話がありましたが、がん検診、特定健診、それから歯周疾患検診、すべて目標値に達していないというところで、その検診を推進していきたいという下野市の目指すところがあります。そのことについて、皆様のご所属の団体等を通じて、検診受診を広げていく何かアイデアやご意見があったら、お聞きしたいと思います。まずはここまでのところで、何か質問しておきたいですか、確認しておきたいというようなことがございましたら、お願いしたいと思います。
- (原委員) 死因のところ、脳卒中などの脳関係が多かったというデータがあったと思いますが、その中で老衰ってというのは、とても表現が難しいんですけど健康的な死ととらえていいのでしょうか。他の死因と同じように話されていたので、それが悪いことのように捉えてしまいましたが、それはいいことなのでしょうか。
- (春山会長) 市としてはどのように捉えられていますか。

- (事務局) 老衰というのは、何か原因となる疾患がなく、最終的には死亡診断書を書く医師が、当てはまる死因を書いたものを、統計にとる形になりますが、老衰による死の割合はもともと少なく、やはり多いのが脳血管疾患だったということです。それが年々、老衰が少しずつ増えてきたという状況で、よく言えば脳血管疾患でお亡くなりになる方がとても減ってきた評価なのかと思います。最終的に老衰でお亡くなりになるのが一番幸せな形なのではないかと思っております。
- (原委員) わかりましたありがとうございます。あと、もう1つ聞いてもよろしいですか。今回出されたデータというのは、国民健康保険の数値がメインでしょうか。
- (事務局) 1枚目（資料4：下野市の状況）については、国での調査になるので、国保の方、社保の方全部合わせてのデータになります。2枚目（資料4：健診・医療・介護データからみる地域の健康課題）、3枚目（資料4：健康スコアリング）に書いてあるものは国民健康保険の方がメインとなっております。
- (原委員) わかりました、ありがとうございます。
- (春山会長) 老衰については「大往生だったね」というような、認識でよいのかなと思います。他にご質問ありますか。
- (大塚委員) 特定健診とかを行っていないんですという方が、いらっしゃるのですが、そういった方は車椅子の方とかで、会場に行って検診を受けるのが難しかったり、クリニック等でも車椅子で入れるところが少ないということをおっしゃられる方が多いのです。下野市で何か工夫されてる点とかがありましたら、私も広めていきたいと思うので教えてください。
- (春山会長) 障がいを持っているなど自立度が低い方でも、検診を受けやすいような工夫って何かされてますでしょうか。
- (事務局) 集団検診会場での対応になってしまいますが、申し込みの時に車椅子で行きますとか、杖を使用している等、事前にご連絡やその場でお声を掛けていただければ、スタッフのほうでお手伝いしながら対応しております。また、聴覚障がいの方が、胃バリウム検査を受けたいとお話がありまして、検診の委託先に問い合わせたところ、パネルを使用し文字でやりとりもできますということとか、あと女性の方で知的障害のある方が、子宮頸癌検診を受けたいというときには、保護者も一緒に入って受けることができるということも実際ありますので、その都度ご相談いただければその方に沿った、お手伝いができるのかなと思います。
- (春山会長) 大塚委員よろしいでしょうか。
- (大塚委員) はい、ありがとうございます。
- (春山会長) 対応や配慮はできるというところなので、そういうことができるということの周知も必要なのかなと思いました。他にございますでしょうか。
- (上野委員) よろしいですか。
- (春山会長) はい。お願いいたします。

- (上野委員) 確認的な質問になりますが、今まで推進した内容は、5年延長したことにより25年までとなりましたよね。今までの計画と、内容はどこか変わったところはあるんですか。
- (春山会長) 延長された計画について変わったところはあるかどうかということですね。
- (上野委員) そうです。今までいただいていた内容と違うのかそれとも同じなのか、
- (事務局) 計画が延長になっても、目標や内容は同じです。
- (上野委員) 内容は変わりはないんですね。  
テレビで、国の方針となる「健康日本 21」について放送していたけれど、その考え方が県の計画に組み込まれてそこから、市の計画に来ると思うのですが、それについては現在の計画には入っていないということによろしいか。
- (事務局) そちらにつきましては来年計画策定を行いまして、そこを組み入れながら来年皆様のご協力を得ながら、計画の方を策定していきたいと思えます。
- (上野委員) 基本的には、健康長寿の礎のような形で、方針は変わっていないんですね。
- (春山会長) それでは、市民の検診受診を促していくために、どうしたらよいかということで、皆様のご所属の団体や組織を通して、出来そうなことがありましたら、ぜひお願いしたいと思えます。薬剤師会からいらっしゃってます、伊沢先生いかがですか。
- (伊沢委員) 病気で薬局に来る方に「検診は受けていますか」と声かけをしておりますが、検診の大切さを伝えるため、もっと積極的に声かけをしていくべきだと思えます。また、ご本人だけでなく、ご家族の方へも声かけができればと思えますが、健康な方は薬局に来る機会が少ないためアプローチ方法に苦慮しております。その他何かできることがないか検討してみたいと思えます。
- (春山会長) 薬局にいらっしゃる方に「検診受けてますか」というふうに言っていたのは、とても大きな意味があると思えます。病院を受診されている方も検診を受けていただいてもいいわけで、受診された病院で声をかけていただければ、検診の重要性に気づいてもらう大きなきっかけとなりますので、ぜひお願いしたいなと思っております。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。佐藤委員お願いいたします。
- (佐藤委員) 実は午前中、検診を受けてきたんですけど、後期高齢は胃がんのバリウム検診が受診できないと聞いたのですが、これはどういうことでしょうか。
- (事務局) 後期高齢者医療制度加入の方が胃のバリウム検診が受診できないことはないのですが、お申し込みいただき、受診いただければと思えます。ただ、先生との問診の中で、もしかしたら誤嚥の可能性のある等の場合には、胃バリウム検査ではなくて、内視鏡検査を勧められることもあると思えますが、基本的に後期高齢医療制度加入の方が胃のバリウム検査を受けられないということはないです。
- (佐藤委員) はい、わかりました。  
あと、毎年検診を受けているのですが、今年は以前に比べて検診が苦痛でなくなった感じがしました。前はもうちょっと苦しかったなという感じがしたのですが、今年は思っていたより楽だったという感じがしました。これも委託事業者の、いろんなサポートがよかったのかなと思えます。ありがとうございます。
- (春山会長) 今のは手技的な部分ですよ。検診で大変な思いをしてしまうと、次ちょっと受けたくなくなってしまうというところもあるかと思うので、大事なところですね。

- (佐藤委員) 診察中に声かけがあるのとないのとでは、全然違いますね。
- (春山会長) そうですね市でも委託してるわけですので、その委託先として受診された方のご意見とか感想というのは伝えられるので、今のもぜひ伝えていただくといいのかなと思います。
- (佐藤委員) 健康しもつけ21プランのことなのですが、この21というのはどういう意味なのかの説明をお願いできればと思います。
- (事務局) 健康日本21などの21のお話しを聞くとと思うのですが、21世紀の21になります。
- (佐藤委員) 21世紀という意味なのですね。
- (春山会長) 健やか親子21というものがあります。  
皆さんどうして21なのかなとか思われますよね。  
それでは市民代表の田中委員お願いいたします。
- (田中委員) 集団検診の案内を拝見したところ、乳がん検診は集団検診でのみ受診可能と記載されておりました。しかし、先ほどの村田副会長のお話では、ここ1年ほどで個人のクリニックで乳腺系の専門的な診療を行う病院が増えているとのこと。  
個人のクリニックでの乳がん検診は受診できないため、昨年、私は集団検診を受診しようと思いましたが日程が合わず、個人のクリニックで受診したため、受診券が使えず自己負担となりました。  
もし、個人のクリニックでも乳がん検診を受けられるようになれば、より多くの方々が検診を受ける機会が増えるのではないかと考えております。この点について、何かお考えはございますでしょうか。
- (事務局) 乳がんの個別検診は41歳の方だけ実施しております。下野市は基本的に検診が無料ですけれども、国の方針で、検診受診率向上を目的に、41歳の乳がん検診の方だけ無料という形でどこの市町村も実施しております。今年度は市内のめぐみ乳腺クリニック、かくた呼吸器内科・乳腺クリニック、石橋総合病院、小金井中央病院の4ヶ所で実施しております。  
今お話があったように、今までは石橋総合病院と小金中央病院の2か所しか実施できる施設がなかったのですが、昨年度めぐみ乳腺クリニックが開業して、今年度からかくた呼吸器内科・乳腺クリニックが開業しましたので、先ほどのようなご要望を市民の皆さんからいただいています。個別検診で乳がん検診を実施となりますと、乳がん検診の対象者を各医療機関で対応可能なキャパシティが有るのかどうかの問題も出てきます。個別検診が実施できるかの検討が始まったばかりの状況です。
- (春山会長) 特に働き盛りの方は、集団検診日程等が合わないということがしばしばあるので、個別検診も用意されることはすごい大事だと思います。今、田中委員からいただいた件について、少し検討されているということなので、進められるといいのかなと思います。  
それでは、意見が活発に出てきたところですが、時間が近づいてきましたことと、まだもう1つ、幼児の健康実態調査についての説明がありますので、お願いいたします。
- (事務局) **【事前送付資料4】**に基づき説明
- (春山会長) お気づきのことがありましたら、後ほどご意見をいただければと思います。  
それでは(4)その他のにつきまして始めたいと思います。3点ほどあるんですけれども、まずラジオ体操について、菅井委員にお願いしたいと思います。

- (菅井委員) 自治会連絡協議会での取組としまして、地域の皆様の健康づくりを応援するため、近くの公園2か所でラジオ体操を実施しています。近隣の方々にチラシを配布し、ラジオ体操への参加を呼びかけたところ、少しずつですが参加者が増えてきました。さらに、参加者にラジオ体操のスタンプ帳を配布したところ、予想以上に好評で、スタンプを集めるのが楽しみという声が多く、土曜日の参加率も向上しました。また、スタンプをもらうために、参加者同士が自然と集まるようになり、そこで会話が弾むようになりました。
- スタンプ帳を通して、お互いの安否確認や情報交換が行われるようになり、地域の見守り活動にも繋がっています。スタンプ帳という小さな取り組みが、参加者の健康促進だけでなく、地域全体の活性化にも繋がっていることを実感しています。今後も、ラジオ体操を通して、より一層地域が活気づくよう、様々な取り組みを進めていきたいと思います。
- (春山会長) 自治医科大学でも調整した結果、週に1回だけですが、金曜日のお昼にラジオ体操を行っております。
- 研究結果で、運動も必要なのですが、黙々と運動するだけではなく、人との交流や会話をし、その両方があって、健康が維持されたり、介護予防というようなことはもう明らかになってます。そのような効果がラジオ体操にはあるということなので、皆さんもぜひ機会がありましたら、ご参加いただくと良いと思います。
- それでは続きまして、熱中症予防についてと、栃木県内のコロナの感染状況についてということで、事務局の方からお願いいたします。
- (事務局) 熱中症予防についての説明
- (春山会長) いつも本当に暑くて激しい運動はしないでくださいとしきりにテレビで流れてますけれども、皆さん自身、それから周囲の方々に、ご周知いただければと思います。それでは感染状況についてお願いいたします。
- (事務局) 栃木県内の感染症の状況について説明
- (事務局) 中村委員が保健所所属ですので補足をお願いいたします。
- (春山会長) 是非お願いいたします。
- (中村委員) 改めて保健所の中村と申します。
- この参考資料のCOVID-19に書いてあるところが新型コロナということで、この資料をご覧くださいと、今少しずつ増えております。去年がこの青い線で今年がこの赤い線ですがちょうど今6月7月で同じような形で増えているので、今後同じように増えてくると予想しています。そうしますと夏と冬のピーク時に、同じような形で増えてくると思われまます。
- これらのグラフの中で、COVID-19と書いてある新型コロナと、次のページにある手足口病、これが、活動数の多い2つになります。
- いずれも、突然何かこの流行を止められる方法があるわけではないので、日頃の感染対策が必要となります。さきほど、手洗いやうがいという話もありましたが、何より普段から、ウイルスが来ても負けない体づくりをするというのが、日頃から出来る最大の抵抗力をつける道なのかなと思います。
- 今日は下野市の健康づくりということで、生活習慣の話や喫煙とか肥満の話等、様々な話がありましたが、普段からの健康づくりということがこの感染対策には重要なこととなりますので、皆さんご自身、また皆さんの周りに、これらの健康づくりの考え方や大切なことを是非広めていただきたいと思います。
- (春山会長) 中村委員ありがとうございました。
- コロナも今増えているというところ、感染症はコロナだけじゃないというところで、気をつけていただきたいと思います。どうもありがとうございました。
- 以上が本日の予定となりますが、これだけは質問しておきたいとか、ご意見言っておきたいということがございますでしょうか。よろしいでしょうか。それではこれで議事を終了したいと思います。事務局の方にお返しいたします。

(事務局)

春山会長、長時間に渡り本当にありがとうございました。

皆様もありがとうございました。

本年度健康づくり推進協議会は年に2回の開催を予定しております。

次回の開催につきましては、年明け頃を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

開催通知につきましては、改めてお送りいたしたいと思います。

また来年度につきましては、健康しもつけ21プラン策定委員会という形でこのメンバーで、策定の方を進めたいと思いますので、皆様どうぞ協力の程よろしくお願い申し上げます。

それでは以上をもちまして、令和6年度第1回健康づくり推進協議会を閉会させていただきます。

本日は大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

閉会